

様式第5号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1 教育実習等の内容及び成績評価等	
① 教育実習等の時期	<ul style="list-style-type: none"> ア 高等学校教諭一種免許状にかかわる実習 教育実習Ⅰ（中等）・・・原則として4年次前期（5～10月） イ 養護教諭一種免許状にかかわる実習 養護実習Ⅰ・・・原則として4年次後期（10～2月） 養護実習Ⅱ・・・原則として4年次後期（10～2月）
② 教育実習等の実習期間・総時間数	<ul style="list-style-type: none"> ア 高等学校教諭一種免許状にかかわる実習 教育実習Ⅰ（中等） 高等学校 2週間・60時間 （2単位相当） イ 養護教諭一種免許状にかかわる実習 養護実習Ⅰ 2週間・60時間 （2単位相当） 養護実習Ⅱ 2週間・60時間 （2単位相当）
③ 実習校の確保の方法	併設校である大阪成蹊女子高等学校、包括協定を締結している大阪府教育委員会と連携し、実習校を確保する。
④ 実習内容	<ul style="list-style-type: none"> ア 教育実習の目的 大学での理論研究を学校で総合的に実証研究すると同時に、生徒等への接し方や学校での教諭や職員の教育的実践や専門性を具体的かつ直接的に学ぶことを目的とする。 イ 高等学校教諭一種免許状にかかわる実習 高等学校生徒の成長発達の様子や教員としての職務の一端に触れ教職についての理解を深める。また、教科の指導、学習指導案の作成、教員の指導の様子の観察などを通して教育実践力を持てるようにする。さらに、生徒理解をはじめとする生徒への接し方や学級経営の基本について、実際に体験し教職に対する理解を確かなものとする。 ウ 養護教諭一種免許状にかかわる実習 学校教育の現場で児童生徒と直接かかわり、実習校の教育活動、養護活動、学校保健活動等について、講話、観察、参加、実習によって理解し、大学で修得した理論や技術を用いて、理論と実践を結び付けた検証を行う。また、教育現場の実態や課題を把握し、解決のための態度や方法を修得する。
⑤ 実習生に対する指導の方法	<ul style="list-style-type: none"> ア 高等学校教諭一種免許状にかかわる実習 実習先校長、実習先担当教員との事前打ち合わせを行うとともに、指導教員が、各実習につき1回実習先を巡回し、指導学生の実習の様子を観察し、指導を行う。 なお、実習先が遠隔地等で巡回指導ができない場合は、実習先校長、実習先担当教員とメール、電話等で直接連絡を取り、授業内容や実習の様子の聞き取りなどを綿密に行うとともに、実習生から実習状況や実習の内容などを把握し、指導を行う。 イ 養護教諭一種免許状にかかわる実習 実習先校長、実習先担当教員との事前打ち合わせを行うとともに、指導教員が、各実習につき1回実習先を巡回し、指導学生の実習の様子を観察し、指導を行う。 なお、実習先が遠隔地等で巡回指導ができない場合は、実習先校長、実習先担当教員とメール、電話等で直接連絡を取り、活動内容や実習の様子の聞き取りなどを綿密に行うとともに、実習生から実習状況や実習の内容などを把握し、指導を行う。

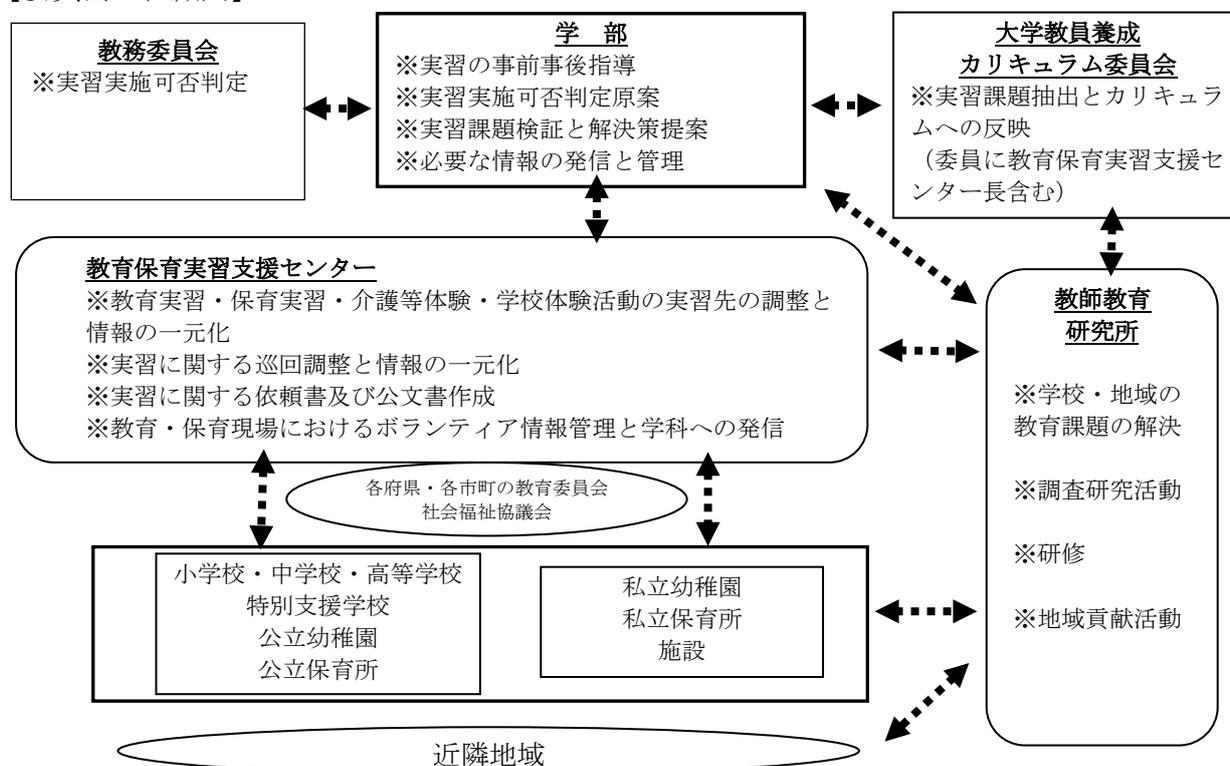
<p>⑥ 実習の成績評価（評価の基準及び方法）</p> <p>※ 評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。</p> <p>ア 高等学校教諭一種免許状にかかわる実習 実習先校からの評価並びに指導教員からの実習先への訪問時の実習の様子の報告内容、研究授業、教育実習記録簿、事前事後指導の学修の様子や学習意欲などを総合的に勘案して評価する。</p> <p>イ 養護教諭一種免許状にかかわる実習 実習先校からの評価並びに指導教員からの実習先への訪問時の実習の様子の報告内容、学校保健活動や保健指導等の活動内容、教育実習記録簿、事前事後指導の学修の様子や学習意欲などを総合的に勘案して評価する。</p>
<p>2 事前及び事後の指導の内容等</p>
<p>① 時期及び時間数</p> <p>ア 高等学校教諭一種免許状にかかわる実習 教育実習事前事後指導（中等）として実習開始前の4年次前期に12回（24時間）、実習終了後に2回（4時間）の指導を行う。それ以外に実習担当教員が、必要に応じて実習学生ごとに実習開始前の事前指導、実習終了後の事後指導を行う。</p> <p>イ 養護教諭一種免許状にかかわる実習 養護実習事前事後指導として実習開始前の4年次前期に12回（24時間）、実習終了後に2回（4時間）の指導を行う。それ以外に実習担当教員が、必要に応じて実習学生ごとに実習開始前の事前指導、実習終了後の事後指導を行う。</p>
<p>② 内容（具体的な指導項目）</p> <p>ア 高等学校教諭一種免許状にかかわる実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習事前事後指導 実習への参加手続き、実習の目的、実習参加の心得、実習の流れ、個人情報を取り扱い、実習参加の留意事項などについて事前に説明を行い、教育実習とは何かについて理解させる。また、実習終了後に教育実習事後指導として、実習の成果や課題を共有できるようにする。 ・教育実習参加者への教員による個別の事前事後指導 全体への説明、講義以外に必要なに応じて教育実習担当教員による個別の学生ごとの面談による事前指導を行い、個別の疑問に対応するとともに各学校園からの連絡事項などを詳細に伝える。実習終了後も必要に応じて同様に学生ごとの面談による事後指導を行い、実習の成果や今後の学修への課題等について個別指導を行う。 <p>イ 養護教諭一種免許状にかかわる実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護実習事前事後指導 実習への参加手続き、実習の目的、実習参加の心得、実習の流れ、個人情報を取り扱い、実習参加の留意事項などについて事前に説明を行い、養護実習とは何かについて理解させる。また、実習終了後に養護実習事後指導として、実習の成果や課題を共有できるようにする。 ・養護実習参加者への教員による個別の事前事後指導 全体への説明、講義以外に必要なに応じて養護実習担当教員による個別の学生ごとの面談による事前指導を行い、個別の疑問に対応するとともに各学校からの連絡事項などを詳細に伝える。実習終了後も必要に応じて同様に学生ごとの面談による事後指導を行い、実習の成果や今後の学修への課題等について個別指導を行う。

3 教育実習に関して連絡調整を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・ 委員会等の名称 教育保育実習支援センター責任者会議
- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など） 教育保育実習支援センター長、教育保育実習支援副センター長2名、大学・短期大学実習担当教員4名、教育保育実習支援センター職員1名の合計8名)
- ・ 委員会等の運営方法 教育実習（養護実習）・保育実習・学校体験活動・介護等体験にかかわる学生指導、教育支援、情報交換、緊急対応等及びこれらにかかわる諸事項について、中核的な役割を担い、教育実習等に係る実務的な連絡調整を行う。
- ・ 委員会等の活動内容 幼稚園教育実習・保育実習・小学校教育実習・中学校教育実習・高等学校教育実習・特別支援学校教育実習・幼稚園体験活動・学校体験活動・介護等体験にかかわる学生指導、教育支援、情報管理、緊急対応など及びこれらにかかわる諸事項を管理、運営する。具体的には、教育実習全般の情報を本センターに一元化させ、実習先との事前の連絡調整及び取りまとめを遺漏なく行うとともに、実習時の巡回指導についての組織的な運営の中心として機能させる。

【委員会の組織図】



組織図に示すように、質の高い教員の育成を目指しその実現を図るために、学科の担う実習の事前事後指導、教育実習実施の可否判定、実習課題の検証と解決策の提案、その他実習にかかわる必要な情報の発信と管理等の諸事項について、教育保育実習支援センターをその実務面でのサポートセンターとして機能させていく。具体的には、実習校・施設との緊密な連携協力の下、学生一人ひとりがより充実した教育実習ができるよう、実習に臨む前段階における学校体験活動の支援等の組織的な取り組みを進めていく。

また、実習課題の抽出と課題解決は教員養成カリキュラム委員会で協議し、学部のカリキュラムに反映する。

さらに、近隣社会への地域貢献面については教師教育研究所が中心となり、地域社会や各教育委員会そして教育現場との連携協力の下、学校・地域の教育課題の解決、調査研究活動、研修等の貢献活動を展開していく。

以上のように、教員養成カリキュラム委員会、教育保育実習支援センター、教師教育研究所といった学内組織が堅固な協力体制を築き、その基盤の上に、学外の教育委員会、教育施設、近隣地域に対し積極的な働き掛けを行う。これらの取り組みにより、実際の教育実習を円滑に実施し、教職課程の最終段階である教職実践演習において、教員として必要最小限の資質能力を確実に身に付けさせる計画である。

② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

・委員会等の名称 教育保育実習支援センター連絡会議

・委員会等の構成員（役職・人数など）

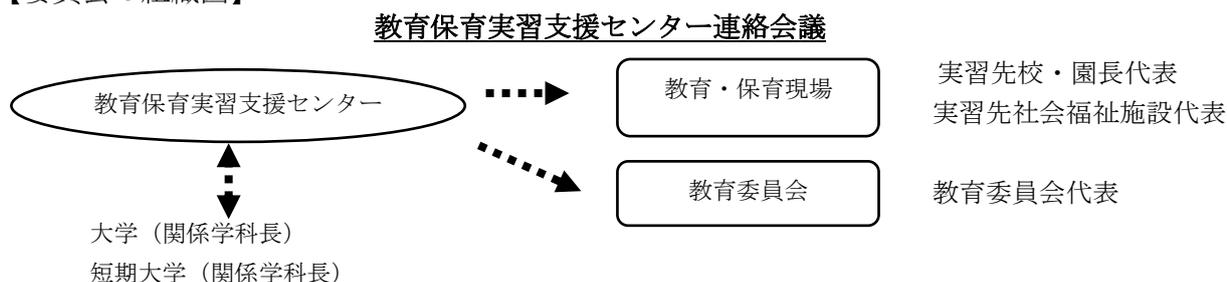
大学関係者 教育保育実習支援センター責任者会議の教職員 4 名、大学・短期大学の関係学科長等 4-5 名 合計 7-8 名

学外関係者 教育委員会代表、実習先校・園長代表、実習先社会福祉施設代表の合計 4-5 名

・委員会等の運営方法 教育保育実習支援センターの教職員が中心となり運営を行い、幼稚園教育実習、保育実習、小学校教育実習、中学校教育実習、高等学校教育実習、特別支援学校教育実習、幼稚園体験活動、学校体験活動、介護等体験にかかわる学生指導、教育支援、情報交換、緊急対応など及びこれらにかかわる諸事項を検討、協議し、学外代表者とも意見交流する。

・委員会の活動内容 必要に応じて会議を開催し、教育実習に関する現状把握と課題解決および情報の共有を図る。

【委員会の組織図】



以上の構成員において、幼稚園教育実習、保育実習、小学校教育実習、中学校教育実習、高等学校教育実習、幼稚園体験活動、学校体験活動、介護等体験の実施全般にわたる諸事項について検討及び協議を行い、実習全体の充実を図る。

4 教育実習の受講資格

教育実習を行う学生に対しては、次の実習基準を設け、教務委員会の議を経て実習参加資格を認定する。いずれの教育実習についても、教育実習誓約事項を遵守する者とする。また、単位未修得科目は2科目までとし、単位修得見込みがあると学部長が認めた者は、教務委員会での議を経て、実習参加資格を認定することがある。

ア 高等学校教諭一種免許状にかかわる実習

- ・「教育学概論」、「教職論」、「教育社会学」、「教育心理学」、「特別支援教育概論」、「教育課程論」、「総合的な学習の時間の指導法」、「特別活動の指導法」、「教育方法論・ICT活用」、「生徒・進路指導論」、「学校教育相談」、「情報科指導法Ⅰ」、「情報科指導法Ⅱ」を学修し、単位修得済みであること、
- ・教科の専門的事項科目について、各科目区分から1科目以上、合計12単位以上修得していること。

以上を条件とし、教育実習にあたって必要な知識・技能を満たしていることを確認する。

イ 養護教諭一種免許状にかかわる実習

- ・「教育学概論」、「教職論」、「教育社会学」、「教育心理学」、「特別支援教育概論」、「教育課程論」、「道徳の理論及び指導法」、「総合的な学習の時間の指導法」、「特別活動の指導法」、「教育方法論・ICT活用」、「生徒・進路指導論」、「学校教育相談」を学修し、単位修

得済みであること、

- ・「公衆衛生学」、「疫学・保健統計学」、「公衆衛生看護管理論」、「学校保健」、「養護概説」、「健康教育論」、「栄養学」、「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」、「病原微生物と感染」、「疾病治療論Ⅲ」、「精神保健論」、「看護学概論ⅠおよびⅡ」、「基礎看護学方法論ⅠからⅣ」、「成人看護学方法論Ⅰ」、「母性看護学実習」、「小児看護学概論」、「小児看護学援助方法論」、「小児看護学実習」については、単位修得済みであること。

以上を条件とし、教育実習にあたって必要な知識・技能を満たしていることを確認する。

5 実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	高等学校 45 学級
○	×	学校名 教員数	大阪成蹊女子高等学校（大阪府大阪市相川 3 - 1 0 - 6 2）学級数:45 生徒数:1,401 人 119 人（内訳）教諭 47 人、助教諭（常勤講師）31 人、講師 40 人、養護教諭 1 人
○	×	教育委員会名	大阪府教育委員会 高等学校：133 校

令和 年度 中学校・高等学校教育実習 成績報告票

大阪成蹊大学

実習生	学部・学科・専攻・コース・学年・(学籍番号)			氏名
	学部	学科	専攻	コース
実習校	年 生 ()			校長氏名
	学 校 名			(印)
	配属学年・学級	学級担任教諭氏名	実習教科	実習指導教諭氏名
	学年 組	(印)		(印)

評価項目		評価の着眼点	評価(○で囲む)			
観察・参加	生徒理解	生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。	A	B	C	D
	授業研究	指導教員等の実施する授業を視点をもって観察し、事実に即して記録することができる。	A	B	C	D
	学校経営	実習校の学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解している。	A	B	C	D
	教育活動への参加	学級担任・教科指導教員等の補助的な役割を担うことができる。	A	B	C	D
学習指導・学級経営	学習指導案の作成	学習指導要領及び生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し、授業を实践することができる。	A	B	C	D
	学習指導の基礎的技術	学習指導に必要な基礎的技術(話法・板書・学習形態・授業展開・環境構成・安全への配慮など)を実地に即して身に付けるとともに、適切な場面で情報機器を活用することができる。	A	B	C	D
	学級経営	学級担任・教科指導教員等の学級や学習集団づくりにおける役割と職務内容を實地に即して理解している。	A	B	C	D
	生徒指導	教科指導以外の様々な場面で適切に生徒と関わることができる。	A	B	C	D
実習態度	勤務態度・熱意	法令を遵守し、挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、教員に求められる基本的な事項が身に付いている。	A	B	C	D
	事務・実務の処理	各種レポート・教育実習記録・書類などを的確に記述し、期限を守って提出できる。	A	B	C	D
実習期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 の () 週間					
出席状況	出席日数	欠席日数	遅刻回数	早退回数	備考(欠席などの理由)	
	日	日	回	回		

総合所見	総合評価
	<input type="checkbox"/> 非常に優れている <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 努力を要する <input type="checkbox"/> 努力が認められない

備考 1. 評価項目は、[A:非常に優れている B:優れている C:努力を要する D:努力が認められない]として○を付けてください。

2. 総合評価は、評価項目を踏まえて総合的に評価し、該当するものに☑を付けてください。

令和 年度 養護実習 成績報告票

大阪成蹊大学

実習生	学部・学科・学年・(学籍番号)			氏名
	学部 _____ 学科 _____		年生 ()	
実習校	学校名			校長氏名
				(印)
	配属学年・学級	学級担任教諭氏名	実習教科	実習指導教諭氏名
	学年 _____ 組 _____			(印)

評価項目	評価の着眼点	評価(○で囲む)			
児童生徒の理解	児童生徒の一般的傾向と多様性、および学校生活の実態について理解できる	A	B	C	D
	成長発達過程における、児童生徒の特性と個人差について理解できる	A	B	C	D
学校保健活動	実習校の特性を踏まえた教育計画と、学校保健活動について理解できる	A	B	C	D
	教育活動における保健室の位置付けと役割について理解できる	A	B	C	D
	健康診断など、児童生徒の健康の保持増進を図るための活動に参加し、その意義について理解できる	A	B	C	D
保健指導	児童生徒が抱える心身の健康課題について理解できる	A	B	C	D
	健康課題解決のための指導計画を立案できる	A	B	C	D
	保健指導を実施し、評価できる	A	B	C	D
養護教諭の役割と専門性	養護教諭の役割と専門性について理解できる	A	B	C	D
	他の教職員との連携の方法と意義について理解できる	A	B	C	D
実習態度	挨拶や言葉遣い、他者とのかかわり、実習への取り組みなど、教員に求められる基本的な資質が身に付いている	A	B	C	D
	実習記録、レポート等を的確に記述し、期限を守って提出できる	A	B	C	D
実習期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 の () 週間				
出席状況	出席日数	欠席日数	遅刻回数	早退回数	備考(欠席などの理由)
	日	日	回	回	

総合所見	総合評価
	<input type="checkbox"/> 非常に優れている <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 努力を要する <input type="checkbox"/> 努力が認められない

備考 1. 評価項目は、[A:非常に優れている B:優れている C:努力を要する D:努力が認められない] として○を付けてください。

2. 総合評価は、評価項目を踏まえて総合的に評価し、該当するものに☑を付けてください。

教育実習受入承諾書

令和4年2月4日

大阪成蹊大学
学長 武蔵野 實 様

大阪成蹊女子高等学校
校長 若林 智子

学校法人大阪成蹊学園が設置する大阪成蹊大学データサイエンス学部及び看護学部の教職課程に係る教育実習の受け入れについて、下記のとおり承諾します。

記

1. 受け入れに係る学部学科及び免許状の種類

データサイエンス学部データサイエンス学科 (入学定員 80名)

高等学校教諭一種免許状 (情報)

看護学部看護学科 (入学定員 80名)

養護教諭一種免許状

2. 教育実習の受け入れ時期

令和8年4月以降

以上

教育実習受入承諾書

令和4年2月18日

学校法人 大阪成蹊学園
理事長 石 井 茂 様

大阪府教育委員会
教育長 橋 本 正 司

学校法人大阪成蹊学園が設置する大阪成蹊大学データサイエンス学部及び看護学部の教職課程に係る教育実習の受け入れについて、下記のとおり承諾します。

記

1. 受け入れに係る学部学科及び免許状の種類
データサイエンス学部データサイエンス学科 (入学定員 80名)
高等学校教諭一種免許状 (情報)
看護学部看護学科 (入学定員 80名)
養護教諭一種免許状
2. 教育実習の受け入れ時期
令和8年4月以降
3. 所管学校数 (令和3年5月1日現在)
高等学校 133 校

以上